

## Sunshine 第11回 Lessons

### Lesson 11-1 代名詞の格 & 所有代名詞 (he / she / it 編)

ここでは、he / she / it といった代名詞の格変化と所有代名詞について学んでいきます。

#### 【he / she / it の格変化と所有代名詞】

主格 <～は・～が>	所有格 <～の>	目的格 <～を・～に>	所有代名詞格 <～のもの>
<b>he</b> <彼は>	<b>his</b> <彼の>	<b>him</b> <彼を・彼に>	<b>his</b> <彼のもの>
<b>she</b> <彼女は>	<b>her</b> <彼女の>	<b>her</b> <彼女を・彼女に>	<b>hers</b> <彼女のもの>
<b>it</b> <それは>	<b>its</b> <そのの>	<b>it</b> <それを・それに>	* _

\* 「it の所有代名詞 = its」は存在するが、めったに使われないため「it の所有代名詞は存在しない」と教えられることが多い。

1. 主格 = 「彼は」「彼女が」など、文の主語になる形。

<例> 彼が、クリスです。 = He is Chris.  
彼女は、先生です。 = She is a teacher.

2. 所有格 = 「彼の」「彼女の」など、誰かの所有を表す形。

<例> これは、彼のペンです。 = This is his pen.  
彼女の車は大きいです。 = Her car is big.

3. 目的格 = 「彼女を」「それを」など、動詞の対象となる形。また前置詞の後にも置かれる。

<例> 私が彼女を教えます。  
 = I teach her. <「教える (動詞)」の対象 → 彼女>  
 私たちはそれが必要ではありません。  
 = We don't need it. <「必要とする (動詞)」の対象 → 彼>

4. 所有代名詞 = 「彼の (もの)」「彼女の (もの)」など、「所有格 + 名詞」の意味を持つ。

<例> このパソコンは、彼の (もの)です。  
 = This computer is his. (his = his computer)  
 あのカバンは、彼女の (もの)です。  
 = That bag is hers. (hers = her bag)

## Lesson 11-2: 前置詞⑥ (in / beyond / about)

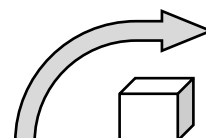
ここでは、すでに学んだ in の別の用法や beyond / about の使い方について学んでいきます。

1. **in** = ～ (時間) 後に / ～ (時間) で / ～ (映画・本などの中) で / ～語で  
＜何かの中にあるイメージ＞



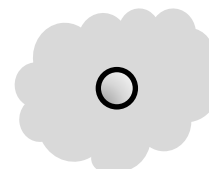
＜例＞ I can finish this in 2 days. (私は、これを2日で終わらせられます)  
Can you write emails in English? (あなたは、英語でメールを書けますか)

2. **beyond** = ～の向こうに (へ・で・の) / (程度・能力) ～を超えて  
＜ある基準・範囲を超えているイメージ＞



＜例＞ It is beyond me. (それは、私 (の能力) を超えています)

3. **about** = ～について / だいたい  
＜周りにモヤモヤあるイメージ＞



＜例＞ I want to talk about this movie. (私はこの映画について話したいです)  
He has about 5,000 \*yen (彼はだいたい5,000円持っています) \*yen = 円

## Lesson 11-3: 様々なフレーズ⑩

1. **get up** = 起床する / 起きる

＜例＞ I usually get up at 7:00. <私はたいてい7時に起床します>

2. **kind to** ～ = ～に (対して) 優しい / ～に (対して) 優しくする

＜例＞ That is Mr. Smith, right? <あれは、スミス先生ですよね?>

### 〔補足説明〕

kind of ～ とすると「～の種類」という意味になる。

＜例＞ What kind of food do you like? (何の種類のお食べ物が好きですか)

3. **walk my dog** = 私の犬を散歩させる

＜例＞ I walk my dog every morning. <私は毎朝私の犬を散歩させます>

### 〔補足説明〕

walk は「歩く」という意味だけでなく「歩かせる」という意味もある。そのため、walk my dog で「私の犬を散歩させる」という意味になる。また、my の代わりに the が使われることもある。

#### 4. take ～ (時間) = ～ (時間) かかる

<例> It usually takes about an hour. <いつもは、だいたい1時間かかります>

##### 【補足説明】

it は「時間」「天気」「寒暖」を表す際にも使われる。この it は「それ」と訳さないのがポイント。

### Lesson 11-4: 文頭に置ける副詞 (句)

sometimes / on Monday など、副詞 (句) によっては、文頭に置くことで文全体を修飾することができます。

1. sometimes / on Monday など、文の中間や最後に使っていた副詞 (句) は文の先頭で使うことができる (この時、カンマが打たれることが多い)。
2. 文の先頭に持って来ることで、**文全体を修飾することができる**。
3. 1文に動詞が2つ以上登場する場合、副詞 (句) がどちらの動詞にかかっているのか、はっきりさせるために使われる。

<例 1> I sometimes go to the library and study English.  
(私は時々図書館に行って英語を勉強します)

【解説】基本的に sometimes がかかるのが go to the library となる。つまり「私は家やカフェで英語語を勉強することもあります、時々図書館に行って英語を勉強します」という意味で捉えることもできる。

<例 2> Sometimes, I go to the library and study English.  
(時々、私は図書館に行って英語を勉強します)

【解説】文頭に sometimes があるため、文全体を sometimes という単語で修飾する形となり基本的に「私は日頃いろいろなことをしていますが、時々図書館に行って英語を勉強します」という意味となる。

4. every Sunday のように、副詞句でも同じ考え方ができる。

<例 1> I practice tennis and play games every Sunday.  
(私はテニスを練習し、試合を毎週日曜日に行います)

【解説】「試合をする」というのが毎週日曜日というのは、はっきりしているが「テニスの練習をする」というのは毎週日曜日でない可能性がある。

<例2> Every Sunday, I practice tennis and play games.

(毎週日曜日に、私はテニスの練習をし、試合をします)

【解説】文全体を「毎週日曜日に」という副詞句で説明しているため、「テニスの練習をする日」と「試合をする日」が同じ「毎週日曜日」だということがわかる。

5. しかし、**副詞（句）の全てを文頭に置けるわけではないので注意**。副詞（句）は、種類によって文頭に置ける場合と置けない場合がある。

### 【文頭に置ける副詞（句）の種類と例】

種類	例
明確な時間を表す副詞	today（今日） / on Sunday（日曜日に） / every morning（毎朝） / in 30 seconds（30秒後に） / Then（その時 / そしたら）
頻度を表す多くの副詞	sometimes（時々） / usually（たいてい）
追加を表す副詞	also（～もまた）
順番を表す副詞	first（まず / 最初に） / second（2番目に）
場所	in Japan（日本では） / in my city（私の市では）
* 「頻度を表す副詞」でも <u>often</u> は文頭では使えないので注意！（always（いつも） / never（決して～ない）という頻度を表す単語も文頭では使えない）	

<例> Today, I want to read that book.（今日、私はあの本を読みたいです）

In Japan, many people have smartphones.（日本では、たくさんの人がスマホを持っています）

### 【文頭に置く副詞（句）の文：作り方】

ステップ1：「副詞（句）」と「残りの文」に分ける。

ステップ2：「副詞（句）＋カンマ＋残りの文」の形にする。

<例：今日、私はあの本を読みたいです>

ステップ1：「副詞（句）」と「残りの文」に分ける。

副詞句：「今日」＝ today

残りの文：「私はあの本を読みたいです」

＝ I want to read that book.

ステップ2：「副詞（句）＋カンマ＋残りの文」の形にする。

Today, I want to read that book.